

～「外来種」って知っていますか？～

みなさんは最近、右写真のチョウを見たことはありませんか？写真では、ちょっとわかりづらいですが、後羽に左右4つの赤い斑点があるのが特徴です。「アカボシゴマダラ」というチョウで、中国や韓国に広く分布しています。日本には、もともと奄美大島とその周辺の島々だけに生息していました。ところが、1995年にさいたま市の秋ヶ瀬公園付近や神奈川県で確認された報告があり、その後、関東南部を中心に数多く発見されるようになりました。



中国や韓国のチョウがなぜ関東に...？どうやら、人によって違法に国内に持ち込まれた可能性があるのです。このようにもともとその地域に生息せず、外部から人の手によって持ち込まれた生き物を「外来種」といいます。ブラックバスやアメリカザリガニ、アライグマ、植物ではセイタカアワダチソウ、セイヨウタンポポなども外来種です。これらの生き物は、その地域の自然環境のバランスをくずしてしまうことがあり、大きな問題となっています。農作物への被害や感染症など、直接人に影響を及ぼす外来種もいます。

外来種に対して私たち一人一人ができることは、正しい認識を持ち、むやみに生き物を捕って他の場所へ移したり、ペットとして飼っていた生き物を捨てたりしないなど責任をもって生き物に関わることです。

センターの周りにも多くの外来種が存在します。外来種について地域の方々や子どもたちに伝えたり、計画的に外来種を除去することも私たちの仕事です。(T)

季節の生き物

ヒナタノイノコズチ(ヒユ科)



秋、野原に入り込んで花を見て出ると衣服に雑草の実が「八の字」の形でたくさんついていたりありませんか？衣服によくつく雑草の実は、いろいろありますが、特に多いのが小さい麦の穂のようでトゲトゲした形のヒナタノイノコズチの実です。名前の由来は「日向の猪の子糞」で、日当たりのよいところに生え、節の太い茎をイノシシの脚の膝頭に見立てたものと言われています。衣服についたこの実は、秋の訪れを感じさせてくれるだけでなく、小さい頃、野原で虫とりをしたときの懐かしい思い出を呼び起こしてくれる雑草の一つです。(W)

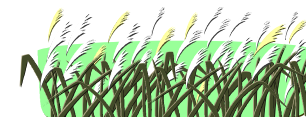
講座案内 (10・11月)

10月22日(土) 自然写真撮影会 雨天中止

「彩湖の自然を撮ろう：風景編」

彩湖周辺に広がる秋色の彩りの自然を写真にしてみませんか。デジタルカメラを購入したけれど、まだ使い方が身についていない方やもう少し上手に撮りたい方、ぜひ参加を！

対象：一般(中学生以上)  
 定員：20名  
 時間：10:00～12:00  
 持ち物：デジタルカメラ、三脚(お持ちの方)  
 参加費：100円(保険代)



10月30日(日) 親子ふれあい教室 雨天実施

「オギのミズクづくり」

センター周辺に生えるススキに似た「オギ」の穂を集めて、かわいいミズクづくりにチャレンジしませんか？ちょっと難しいので親子で協力して作りましょう。何年も長持ちするので、ぜひつくりに来てください。

対象：小学生以上の親子  
 定員に空きがあれば大人の方だけでもご参加いただけます。(お電話でお問い合わせください)  
 定員：30名  
 時間：10:00～12:00  
 持ち物：軍手、園芸用ハサミ、作品を持ち帰る袋(ビニール袋等)  
 参加費：100円(保険代)



11月13日(日) 自然ものづくり教室 雨天実施

「ネイチャークラフト」

色づいた木の実や枝など自然の素材で飾れるものを可愛らしく作ってみませんか？アクセサリーも作れますよ。大人の方だけでも大歓迎です。

対象：一般(小学生以下は保護者同伴)  
 定員：20名  
 時間：10:00～12:00  
 持ち物：軍手、作品を持ち帰る袋かバッグ  
 参加費：一人100円  
 別途材料費200円(作品1個につき)



申込方法：彩湖自然学習センターへ電話申込みか直接ご来館ください。(3階事務室)

なお、申込みは、講座の1か月前から受け付けています。 :048-422-9991

詳しくは彩湖自然学習センターホームページ

(<http://www.city.toda.saitama.jp/433/432448.html>)をご覧ください。